



6月4日に75歳以上の医療費2割負担化の法案が成立したことを受け、小澤理事長(写真)は同日、抗議談話を発表した。要旨は次の通り。

75歳2割負担に抗議

政府与党は、病床削減を推進する医療法「改正」案の可決(5月21日)に続き、6月4日の参議院本会議で75歳以上の医療費の窓口2割負担を導入する医療保険制度「改革」関連法案をいずれも自民・公明・維新・国民などの賛成多数で可決した。医療崩壊に拍車をかける両法案を強行可決したこ

とに厳しく抗議する。「2割化」の狙いが後期高齢者の受診抑制による医療費削減にあることは明らかだ。同法は2割負担の対象を単身世帯「年収200万円以上」、夫婦世帯「年収320万円以上」の約370万人としているが、政令で対象範囲を拡大する民の声を耳を傾けるべきだ。

35%から、以前の老人保健制度の45%に戻すべきだ。保団連・協会などが取り組んだ国会請願署名は100万筆を超え、「年の命と健康を脅かす重大な問題だ。」

いま政府が注力すべきは、コロナ禍で疲弊する国民生活の支援、生業の保障、病床確保や検査体制の拡充であり、「2割化」や「病床削減」ではない。

私たちは、引き続き両法に反対し、地域の患者・住民とともに誰もが安心して医療を受けることができるよう「保険でより良い歯科医療の実現を求める」請願署名の取り組みを通じ、窓口負担の引き下げと医療提供体制の拡充のために力を尽くすことを表明する。

観測 歯科提供体制検討会

6項目の議題を示す

厚生省は第2回歯科医療提供体制等に関する検討会を2日に開いた。

同省は第1回の検討会の意見を踏まえ、「当面の議論の進め方(案)」を説明。▽歯科疾患の予防、重症化予防の推進と

▽歯科医療機関の機能分化と連携、かかりつけ歯科医の機能▽地域における障害者(障害児)への歯科医療提供体制▽今後の歯科医療のニーズを踏まえた歯科医師の需給――など6項目にわたる議論の柱を提示した。

歯科医療の提供の在り方については、来年度中

観測 歯周病対策WG

検討課題に健康格差

厚生省の「歯科口腔保健の推進に係る歯周病対策ワーキンググループ」(WG)が5月14日に初めて開かれた。歯周病への効果的な対策の方向性を議論するもので、同省は検討課題として対策の指標や目標値、健康格差、歯科健診の在り方などを挙げた。座長には、

福田英輝氏(国立保健医療科学院統括研究官)が就任した。2011年の歯科口腔保健推進法の成立から10年が経ち、今年度から専門委員会でも成果の検証や次期基本的事項の策定のための検討が開始される。WGの検討結果は同委員会に報告される。

とを提案するとともに、今後の提供体制の目指すべき姿のイメージ(たたき台)を提示した。

歯科技工士の業務の在り方と需給については、別途専門的に議論する場で検討するとの考え方を示した。

ありのままの自分で医療・職場のLGBT



一般社団法人fair代表理事 松岡 宗嗣

松井さん(仮名)は、幼少期から「女性」であることに違和感を抱えてきました。かといって男性になりたいというわけでもない。大学に入ってから「Xジェンダー」という言葉を知り、腑に落ちたと言います。

「女性」として扱われ

しかし就活中は女性用のリファルトスーツやメイクがどうしても嫌で、服装規定が緩く、過去にアルバイト経験があったことなどから学習塾の企業に就職しました。入社した会社は男性が多数。松井さんは周囲から女性として扱われ、「お前フリーなんだから、あいつなんかどうだ」と無理やり男性社員を紹介されたり、社員旅行のバスでは「男は女をくどけ」と男女ペアで座らされ、松井さんが座ると男性社員から「お前かよ」と笑われるなどのハラスメントを受けてきました。

「性的マイノリティ」として

同期の数人にはXジェンダーであることを伝えていましたが、アウェイングされ、いつの間にか社内に噂が広がってしまった。ある体験学習の授業の際には「松井さんは性同一性障害だから男の子のグループを担当ね」と一方的に決められたと言います。

ある時、松井さんが授業をしていると、隣のクラスから笑い声が聞こえ、どんな話題で盛り上がっているのかなと思って覗

複合的なハラスメント、組織構造の見直しを

こうした職場環境に耐えながら、松井さんはがむしやりに働き続けましたが、ある冬の日に教室で倒れてしまいました。「子どもに関わるのが好きで、子どもには自分らしくのびのびと成長してほしいと思って働いてきたんですが、自分はいったい何をしているんだろうと。やっぱり一回辞めようと思って、その会社は退職しました」と松井さんは語ります。

周囲から「女性」として扱われ、さらに「性的マイノリティ」であるという、よりマイノリティの立場に置かれると、セクハラやSOGIハラなど複合的な被害を受ける場合も少なくありません。法律に基づき職場のハラスメント防止措置を講じることがもたらさず、そもそもハラスメントが起きない職場にするためには、Xジェンダー(生まれた時に割り当てられた性別に違和感のない)・異性愛者の男性中心の組織構造自体を問い直し、変えていくことが必要です。

納得のいかない減点には再審査請求を

歯科の減点は、医科に比べて多いとはいえない。その理由は、治療の経過と治癒が明確な歯科

診療の特徴にある。保険者の中には「歯科は審査をして欲しくない」と主張するところもある。減点が支払う手数料に見合わないから手数料がもたない、というのだ。

20年度に保険者が支払基金に支払った歯科の審査手数料は、約100億円。これに対して減点額は、6・7億円だ。手数料分だけ減点せ

よとばかりの主張は、論じるレベルの問題ではない。減点が多くないとはいえず、すべての減点が正当とはいえない。納得がいかなければ、きちんと再審査請求をする必要がある。ところが現状は、全国でも大阪でも再審査件数は減点件数の1%にも満たない。果たして減点は、ほとんどが医療機関の誤りなのだろう

か。再審査請求をすれば脱まれるという誤解は、昔も今も変わらな

りではない。毎月減点があるにもかかわらず再審査をしなければ、逆に不信をもたれることになる。「なぜか」と。他方、減点に対して必ず再審査をする医療機関には、「減点するとまた再審査かも」と審査委員は慎重になる。

各歯科医院の減点額は少額であっても、「塵も積もれば…」のたとえどおり、基金における20年度の全国の減点額は先に触れたように約6・7億円にもなる。国保を加えればその倍である。マスコミは、これらの減点を

支払基金 改革の行方⑥

フリーライター 橋本 巖 (元大阪府支払基金職員)

減点が多すぎるとはいえない。その理由は、治療の経過と治癒が明確な歯科診療の特徴にある。保険者の中には「歯科は審査をして欲しくない」と主張するところもある。減点が支払う手数料に見合わないから手数料がもたない、というのだ。

20年度に保険者が支払基金に支払った歯科の審査手数料は、約100億円。これに対して減点額は、6・7億円だ。手数料分だけ減点せ

か。再審査請求をすれば脱まれるという誤解は、昔も今も変わらな

りではない。毎月減点があるにもかかわらず再審査をしなければ、逆に不信をもたれることになる。「なぜか」と。他方、減点に対して必ず再審査をする医療機関には、「減点するとまた再審査かも」と審査委員は慎重になる。

各歯科医院の減点額は少額であっても、「塵も積もれば…」のたとえどおり、基金における20年度の全国の減点額は先に触れたように約6・7億円にもなる。国保を加えればその倍である。マスコミは、これらの減点を

歯科医師・スタッフの求人募集は

大阪府歯科保険医協会

協会HP (<http://osk-hok.org/>) の「歯科医院求人情報」ページに掲載します。掲載料は3カ月1万円です。

お問合せ 協会新聞部 Tel06-6568-7731

ある時、松井さんが授業をしていると、隣のクラスから笑い声が聞こえ、どんな話題で盛り上がっているのかなと思って覗